

今日の説教のポイント <マタイによる福音書 10 章 5～15 節>

派遣する弟子たちに語られたことはイエス様の教えの宝庫！

①神様は神様のなさり方で私たちをお救い下さる（1～6）。

主イエスは弟子たちに、「異邦人やサマリア人の所に行くな。イスラエルの失われた羊の所に行け」と言われました。しかし、昇天前には、「行って全ての民を私の弟子にしなさい」(28:19)と言われました。ここから何を聞き取るべきでしょうか？ 「私たちを救うために、神様には神様のなさり方と時があるのだ」ということを思い、受け入れ、自分に与えられた「その時」を大事にすることではないでしょうか！

②「御言葉の宣べ伝え」と「癒し」は、私たちにも両方可能（7～8）。

「イエス様の救いの御言葉を宣べ伝えることはできるが、癒すことはできない」と思っていないでしょうか？ そんなことはありません。何も奇跡を起こさなくても、私たちが主にある平安の中を生きる時、それは回りの人にも伝わって行くものです。苦しみや悲しみの中にある時にも、主イエスの御言葉によって慰められ、励まされる。この癒しこそ、どんな他のどんな癒しよりも確かな癒しなのです！

③「人生は軽装であれ」（9～10）。

この教えは全ての人に通じるものです。色々心配して装備しても人生は予期せぬことで満ちています。先週の祈禱会で、軍事力を心配したダビデが人口調査をして神様から罰を受けた箇所を読みました（サムエル記下 24 章）。イエス様も、収穫を倉に貯め込んだ金持ちがその夜神様から命を取られることを知らないという例えを語られました（ルカ 12：13 以下）。「神様は必要なものをお与えて下さるお方。与えられた物で十分なはずなのだ」、神様を信じてそう思いながら生きる時に、まさに②に記したようなことも起こるのです。

④神様に喜ばれるように生きるなら決して損はありません（11～15）。

「なんだか御利益宗教の言うようなことだな」と思われる方がいるかもしれません。でもその通りなのです。回りの人々に「主の平和がありますように」と祈る生き方をするなら、それが実現すれば一緒に喜べるし、それが分かってもらえない時には、その平安は自分に返って来るというのですから！ ①～④の教え、全てが大事です！